

# 桐生西ロータリークラブ週報



2014-15年度RIテーマ **ゲイリー C.K.ホアン RI会長**

**LIGHT UP ROTARY** **ロータリーに輝きを**

例会日時 毎週金曜日 12:30 ~ 13:30  
 例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス  
 TEL 0277-22-9155 ・ FAX 0277-44-2777  
 Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi

会長 向田 靖 広報活動委員長 新木明夫 広報活動委員 金子福松・岡田善孝・栗原秀一  
 幹事 横塚直人 クラブ会報・雑誌担当 鳥嶋隆一 羽鳥 隆 (歴史編集・IT・CICO担当)

No. 1975

2015年3月6日発行

## 第2097例会 (2015・2・27) 報告

- |             |                         |
|-------------|-------------------------|
| 1. 点 鐘      | 7. 食 事                  |
| 2. ロータリーソング | 8. 委員会報告                |
| 3. 来訪者紹介    | 9. 卓 話 若葉高等学園 学校長 大出浩司様 |
| 4. 米山奨学金贈呈  | 10. 点 鐘                 |
| 5. 会長報告     | 11. ロータリーソング            |
| 6. 幹事報告     |                         |

### ◆ピジター

(学)大出学園 支援学校 若葉高等学園 学校長 大出浩司様  
 米山奨学生 レミンチー君

### ◆米山奨学金贈呈

米山奨学生  
 レミンチー君

2月分の米山奨学金を  
 贈呈しました。



### ◆会長報告

向田会長

- 先週の会員増強プロジェクトチーム合同炉辺会談並びにIMに、多数ご参加頂きましてありがとうございました。IMの各分科会では金子福松パスト会長と家住パスト会長に代表して発表して頂きました。また、会員増強炉辺会談では、正田委員長に会場の提供や飲食の御接待を頂きまして、誠にありがとうございました。本日も例会前に会員増強チームリーダーのミーティングを行い、炉辺会談の成果を結果に結びつける様、協議致しました。皆様の更なるご協力を宜しくお願い致します。
- 青山豊君と今泉攻一君がクラブを代表して、姉妹クラブのフィリピン・マンダロンRCとの共同事業の竣工式典に出席の為、25日から渡航されています。セレモニーは本日27日に予定されています。  
 尚、タイ・チェンマイのRCとのグローバル補助金プロジェクトの現地視察を兼ねた訪問日程も4月18日~21日に正式に決まりましたので、近日中にご案内致します。皆様のご参加お申込みをお願い致します。
- 桐生西ローターアクトのヴォーチェータン君が群大を卒業され就職先に転居されることになりました。そこで、ローターアクトと当クラブの有志で歓送会を3月3日(火)午後6時半から本町4丁目のアンティンモというピザ屋さんで行う事になりました。参加ご希望の方は是非、お申し出下さい。

### ◆幹事報告

横塚幹事

- ◇下期会費未納の方はお早目にご入金下さい。
- ◇IMの写真を該当者に配布致しました。
- ◇桐生タイムス紙にロータリーデーの記事が2/16に、広告が2/21に掲載されました。(各テーブルに配布)
- ◇2/23桐生タイムス紙にIMの記事が掲載されました。
- ◇3月のロータリーレートは現行同様1ドル118円です。
- ◇米山記念奨学会より米山カウンセラー用及び奨学生用の2015年ハンドブックが届いております。
- ◇俳オクトンより2015年カタログ3冊が届いております。
- ◇例会変更のお知らせ  
 桐生RC 3/2,3/30 伊勢崎南RC 3/24,3/31(休)  
 太田RC 3/12 沼田RC 3/3,3/24 安中RC 3/24  
 富岡中央RC 3/26 高崎シブフォークRC 3/20,3/27
- ◇クラブ会報が到着しています  
 桐生RC 2/16 桐生南RC 1/28,2/4 桐生赤城RC 2/10

### ◆食事メニュー

1390キロカロリー

ズワイ蟹と豆腐の旨煮、花野菜のサラダ、白飯、若鶏とピーマンのオイスターソース炒め、香の物、小柱とほうれん草のスープ、パイナップルゼリー

### ◆委員会報告

#### □クラブ運営委員会

#### ◇出席報告

栗原(幸)出席担当

総数65名(免除者9名の内5名出席の為4名を除く)  
 出席率対象者61名、出席率対象者出席人数45名  
 欠席者16名(内前メイク8名) 出席率86.89%  
 前々例会修正出席率93.44% (最終欠席者4名)

#### □拠金委員会

#### ◇ニコニコBOX

井本拠金委員

大出浩司校長先生、本日は卓話ありがとうございます  
 向田君、栗原(幸)君、栗原(秀)君、乾君  
 須田君、坪井君、高森君、小林(秀聡)君  
 IMではお世話になりました 金子君  
 会員増強にご協力頂き誠にありがとうございます 野田君

#### ◇ロータリー財団

早川拠金委員

大出浩司校長先生、卓話宜しくお願い致します  
 栗原(幸)君、船戸君、坪井君、高森君、小林(秀聡)君  
 会員増強にご協力頂き誠にありがとうございます 野田君  
 桂建設の26年度決算が終わりました 家住君

◇米山BOX

七五三木米山奨学担当

大出浩司校長先生を卓話にお迎えして

家住君、横塚君、江原君、坪井君、高森君、小林(秀聡君) 会員増強にご協力頂き誠にありがとうございます 野田君 増強・正田さんご苦勞様です 栗原(幸)君 徹君 就活頑張ってください 乾君 リサイクル募金にご協力ありがとうございます 船戸君

卓 話



学校法人 大出学園  
支援学校 若葉高等学園

学校長  
大出浩司様

「障がい者と  
若葉高等学園について」

本日はお手元の資料を基にお話ししたいと思います。  
先ず、『障がいについて』です。

“障がい”とは、何らかの原因があって機能が十分に果たせないという事です。安易に私達が障がいについて幸・不幸を語るのは危険ではないかと思っています。それは、スマートフォンを例にとっても、使いこなせない機能が多くあり、便利であって逆に不便であるように、生活する上で不便であったり不自由である事は多々あるからです。また、障がいを持つ人に生活し易いように「手帳」を取得させます。これは障がいを区分するものでなく、将来的に社会へ巣立って行った時に、福祉サービスを得られる通行料というか会員証の様なものかと捉えています。ゴルフでいう「ハンディキャップ」も、上達者とそうでない方達が、平等に均等に楽しめることだと思います。

次に“障がい種別特別支援学校”というものがあります。私共は平成19年から養護学校から特別支援学校と名称が変わりました。群馬県では平成27年4月から全ての養護学校が特別支援学校に名称が変わります。県内、盲・聾・特別支援学校が21校あります。その中で高等部の単独校化が図られるようになります。群馬県では全ての特別支援学校を県立化して行こうという取り組みをしています。

そういった中で、私共の学校は特別支援学校ではなく、特別という言葉を外して『支援学校若葉高等学園』に切り替えました。教育を受けるという事は、全ての子供達が支援を必要とするので特別ではないからです。群馬県では初めてです。

一方、全国では特別支援学校は1,100校程あります。子供の数が減る中で逆に増える傾向にあり、学校建設や教室の増設が行われています。その中で約200校が支援学校という名称で在ります。盲・聾・肢体不自由・病弱と5種障がいあり、今迄は知的・病弱肢体に分かれていたのが、障がい種間問わずとなり、何処の学校も単一の障がいではなくなりました。本校は平成6年に誕生し、知的障がいに限らず他の障がいを持っていても受入れており、早くからそういった取り組みを行っています。

“発達障がい”についてですが、小中学校の通常学級の中で6.5%、疑いのある子供を含めると9.2%とも言われ、二桁台に手の届く所まで来ております。一概に発達障がいといっても色々な分類されており、現在では『自閉症スペクトラム』と総称されています。そういったお子さんが、二次障がいを起こしている場合があります。そうならない様に、私達の理解を深めて行けば、救われるケースが沢山あります。高機能自閉症(アスペルガー)で著名な方達が沢山いらっしゃいます。レオナルド・ダビンチ、トーマス・エジソン、ベートーベン、坂本龍馬、チャールズ・チャップリン、ビル

ゲイツ、山下清、等々です。これは周りの方がその才能を見出してあげたから、活躍できたのだと思います。私共の生徒にも、物凄い才能を持った子供がいます。

2番目に、『私立特別支援学校が負うもの担うもの』についてです。

私立の特別支援学校は、全国で本校も含めて13法人14校しかありません。その為、本校には北関東甲信越地方、遠い所では京都や宮城県等からも入学しております。36名の在校生の内、3分の1の生徒が発達に障がいがあるお子さんです。今迄いじめにあつて学校に行けなかったのに、本校に来て皆勤賞を取って卒業した子供がおります。人との繋がりが物凄く大きな影響を与えることが良く判ります。人手と資金のある公立の支援学校からこぼれてしまったお子さんの受け皿として、私立の支援学校があるのが現状であります。私立の支援学校で有名な静岡県にある宮城まりこ先生の「ねむの木学園」があります。まりこ先生は現在85歳で聖路加病院に入院されていますが、無理をして先日一緒に文部科学省に陳情に行ってくださいました。私立の支援学校は、障がい種間問わず「行きたい」という事を第1優先にして受入れをしている所です。

本校は開校して21年目を迎えました。桐生市境野町出身で現在学園長である86歳の母と施設を立ち上げ、施設の立場から子供達にもっと教育が必要であると群馬県に訴えたのです。しかし県立の養護学校が太田に出来たので足りているからと退けられました。ところが、若葉が開校する間にその実態がわかり、ほぼ同時期に県は前橋と高崎に高等養護学校を作りました。私達が積極的に活動するのもそういった経緯があるからです。

また、私学には建学の精神があります。公立には移動がありますが、本校は創立者の精神を受け継いで、それを柱にして、入学から卒業するまで、どんな子供も平等に楽しい学校生活を送れるよう教育を行っています。また、学校規模が小さいので、一人一人の生徒に目を向けられます。

3番目に『国の取組み』についてです。

2014年1月に障害者権利条約が批准されました。教員の質、学校施設設備に関する事、個別の教育支援計画、この3つが適正になさなければなりません。その為、本校はその3つの整備を早急にしなければならぬという事で、3万人の署名を集めて教室建設のため県の補助金をお願いしているところです。お陰様で当初無謀と思われた額の募金を、皆様の善意によりたくさんお寄せ頂いております。

私達が生活する社会は、優秀な人達ばかりでは成り立ちません。凸凹感やこだわりがあり、それが個性でもあり、それとどう付き合っていくかだと思います。障がいの人の人達が住み易い社会を作っていくことが、多くの皆さんの住み易い社会になる事だと思っています。本日はご清聴ありがとうございました。

若葉高等学園教室建設寄付金贈呈

障がいの教育に誠心誠意取り組まれている若葉高等学園に敬意を表し、そこで学ばれる生徒さんの学習環境向上を願って、ささやかではありますが、寄付金を贈呈いたしました。



《次例会予告》

3月13日(金) ロータリー情報・新会員卓話 新井みゆきさん  
3月の出席100%表彰、誕生・結婚祝い